

健康福祉

箱根町放課後児童クラブについて

Q

1 放課後児童クラブの活動内容について

2 放課後児童クラブの土・日の開設と開設時間の延長
また、小学4年生までの拡大と障がい児の受け入れ支援について

3 放課後児童クラブ施設の設備構造基準や安全性及び将来計画について

A

1 点目について、湯本小学校内に設置している「湯本こどもクラブ」は、夏休み中に16名、9月からは9名の児童に対し、指導員5名による交代制のもと、常時2名を配置し、指導にあたっている。仙石原小学校に設置している「きんときクラブ」は、16名の児童に対し、指導員5名による交代制のもと、常時2名を配置し、指導にあたっている。そして、今年の9月に箱根幼稚園内に開設した「箱根こどもクラブ」では、2名の児童に対し、指導員3名による交代制のもと、常時2名を配置し、指導にあ

たっている。

また、活動内容としては、指導員と児童がお互いに対話しながら、遊んだり絵を描いたり、スポーツや工作をするなど、ふれあいによる子どもたちの健全育成を図っている。

2 点目について、まず、土・日の開設についてであるが、町としては、家庭教育の重要性を踏まえ、保護者や家族とのふれあいによる児童の健全育成を第一に考え、土・日の開設は行っていないが、今後の課題であると考えている。

また、午後5時30分まで時間を延長することについては、指導員の勤務時間が午後5時30分となっているので、この時間帯の中で、保護者の事情等を考慮して対応していきたいと考えている。

次に、対象児童を小学生4年生まで拡大することについては、現在、3年生までとなっているが、その理由としては、それ以上の年齢であれば、大人のいない場面でも自分の身の回りのことができるようになる、さらには、大人の庇護の下での遊びや活動よりも、子ども同士の場面での遊びや活動を求めるようになるなど、遊びや生活面での自立が進むと言われていることによるものである。

次に、障がい児の受け入れについては、指導員が教師や保育士等の有資格者ではないことから、保護者にもご理解をいただいた上で、軽度の障がいであれば、受け入れは可能かと思われるので、障がいの程度などにより受け入れを判断していききたい。

3 点目について、まず、施設の設備構造基準や安全性についてであるが、町としての設備構造基準は定めていないが、国の定めた児童福祉施設最低基準に準じた内容で対応している。

次に、将来計画であるが、各地域に放課後児童クラブを開設していききたいと考えているが、宮城野地域は統合後の箱根の森小学校に空き教室が見込めない状況となっていることから、これらの問題解決が見込まれた段階で事業化を図っていききたいと考えている。

都市整備

国道1号小田原箱根道路 湯本山崎インターの進捗状況について

Q

このインターチェンジは、現在、工事途中であるが、今後の工事内容及び国土交通省などに対し、早期の工事進行の要望について伺う。

A

平成8年度に小田原側から工事を始め、平成17年度3月には小田原工区分と箱根工区分の一部の工事を完了し、部分開通したことにより、箱根インターチェンジ付近の慢性的な渋滞が緩和され、通過所要

時間や渋滞長の減少、CO₂排出量の削減などさまざまな効果が現れている。

箱根工区については、現在、国道横断地下道や国道1号下り線擁壁部を施工中で、用地については、残る2件の地権者と交渉を進めている。

今後の見通しであるが、国土交通省では、山崎インターチェンジ付近の鉄道事業者変電所の再築などを調整した後、鉄道側擁壁部や高架橋などの施工をし、前面開通に向け全力で取り組んでいるが、なかなか全面開通に至らず、皆様にご迷惑やご心配をおかけしており、私としても過日、横浜国道事務所長さんと直接お会いし、早期完成を要請したところである。

いずれにしても、バイパス建設は、ようやく先が見えてきた観があるので、横浜国道事務所とさらに十分な調整を図りながら、早期完成を目指していききたいと考えている。



工事中の小田原箱根道路